

(別紙3)

文起第916号 - 1

平成30年9月25日

(施設名) 米子市公会堂  
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司 ㊟

### 平成29年度「米子市公会堂」指定管理者業務評価書

施設名	米子市公会堂
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日(2年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

ブラックボトムプラスバンドによるアウトリーチを市内小学校で実施したり、「春の文化祭」を初めて開催するなど自主事業の内容を工夫し、新たな利用者獲得に努めていることや、「虹のひろば10周年記念コンサート」と同日に前庭で開催された「山陰いいものマルシェ」では、2万人を超える来場者があるなど、前庭・ホワイエの単独利用を含めた施設の利用促進に努め、施設の利用件数及び利用者数が前年を上回る高い水準であったことは評価できる。また、小規模な修繕を職員で迅速に行うなど施設の維持管理も適切に行われている。

##### 【第三者評価】

###### ① 施設について

- 米子市公会堂は改修工事が行われたが、部分的には建物部分や備品など経年変化は付きものである。事業報告書によると、29年度も細やかに対処・改善をすすめていることがうかがえた。消化ポンプ起動盤の交換や自家発冷却水ホースの交換、また小修繕として柱や扉の色塗りや襖の修理など。職員作業によるコスト削減にも努力がうかがわれ、小修繕に加え施設周辺歩道の除草作業や清掃・植栽など環境美化にも努力がうかがえた。また、民間企業と協働での花壇の花植えは、大変意義あるものと感じられた。
- また、利用者サービスについても、大ホール舞台登壇用の手摺りの設置や職場体験の受け入れ・インターネットやマスコミを通じての情報提供など、努力が感じられた。
- 毎回のイベントやコンサートに出席したわけではありませんが、お年寄りも多く、休憩時のトイレの順番待ちが多くありました。お客さんの数に対しトイレの数の基準があるのか知りませんが、トイレの数が少ない様に思いました。
- おおむね良好
- 市の中心にある公会堂は何回か改善を経て現在にいたっているが、前庭や駐車場から事務所への入口に季節の花を植えてウエルカム感を感じる。新しくなってきたが、やはり大ホール集会室の入口が区切りが付きにくい。常にいいに備品も管理されている。
- 職員による軽微な修繕や経年劣化に伴う部材の交換等、施設の維持管理業務等について適正に実施されている。また、民間企業や市民と共に進める公会堂周辺の除草活動等は、今後も積極的にかかわっていただきたい。

## ②管理について

○2/8文化運営委員会の時、私の提案、開演に先立ち「携帯電話の電源をお切りください」と提案、出席者の中に私の提案に賛成して下さった方は、大変うれしく思いました。確かに、主催者側の問題ですが、管理者として、主催者に、ていねいなお願いがあってもいいのではないかと思います。プラカードを持って「携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードへ」とありました。管理側も努力されていると嬉しく思います。

○開館日数・利用者数の結果にニーズの高さを感じる。

○災害の話と一緒にしてもらったが、とても良かった。日々確認をされている様子なので安心できる。大がかりな訓練を各席も含め一緒にできたらと思う。職員の人数が、ぎりぎりなのではないかと思う。研修を一同に集まってということができないと思う。もう少し人員を増やしてもらえよう米子市も予算をつけてはどうか。もう少し利用者もまきこんでボランティアできる場所はしてもらってはどうか。

○前庭の開放やホワイエの活用等、公会堂が市民にとってより身近な施設となってきているように感じます。

## ③事業について

○今年度も多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。特にNHK交響楽団の米子公演を実現し、普段では視聴することができにくいフルオーケストラの魅力を存分に市民に提供できたことは意義深いものがある。また、市民交流事業として地元米子出身の名作曲家「高木東六」氏を顕彰する『高木東六の世界』を開催し、氏の音楽の素晴らしさを大勢の市民に紹介できたこともすばらしいことであった。

○イベントやコンサートの企画以外に地元文化の向上のため、努力されている姿につくづく感心しました。今後とも、更に努力（我々運営委員も）を重ね、米子市の文化の向上を図りたいと思います。

○地元出身の若き音楽家を応援したいと思います。

○利用者が前年比112.9%アップで開館359日にもかかわらず、事業収入（入場料収入）が31.3%減、事業収支も25%減になっていることの分析

○ハロウィン、ダンスなど積極的な取り組みを以前からされていたが、春の文化祭など利用者が参加しやすく喜ばれる事業はすばらしい。公会堂の前庭を利用される催しと大ホールの催しが連携できていくのも良い取り組みと思う。

○今後もインターネットやSNS、マスコミを十分に活用し、幅広い情報発信、情報交換に努めてほしい。

○昨年度、ホール前広場のイルミネーション等の展示について意見があったがその後の進展について伺いたい。7月28日の「コンサート米子」の催しに対し全面的な協力があつたことへは感謝したい。

## 【今後の業務改善方策等の特記事項】

### 【施設所管課】

引き続き適切な施設管理に努め、多くの市民が利用できる環境を整えるとともに、ホワイエや前庭の利活用方法などについてのPR活動を継続し、ホールの客席数や音響等の施設の特性をいかしたイベント等の誘致活動に努めてほしい。

### 【第三者評価】

○駐車場利用料金の引き等があるといいと思います。

○特にはないが、今後も細やかな施設管理に努めていっていただきたい。

○駐車場が少ないのが、なんといっても難点。「やよい」撤去あとの新しい駐車場と「ふれあいの里」の駐車場に期待をかけたところ。市役所駐車場同様、カード式無料化となれば、利用者としては大変ありがたいのであるが…。

○コンサートについて、数10年前に比べ、確かにマナーはよくなりました。携帯電話の響きはありませんでしたが、演奏中にひそひそ話が少し気になります。少しずつ改善すべきでしょう。

- 駐車場について、公会堂周辺に増えましたが、私は市役所の無料駐車場を活用させていただきました。
- 指定管理で貸館という中で、やはり市の予算付けが必要ではないか。文化施設は経営黒字ということはむずかしいと思う。人が集う場所なのでそこにいる人も豊かであってほしい。米子市は3ホール、児童文化センター、歴史館、福市遺跡、米子城跡、妻木晩田と多くの施設、文化遺産をもっているの、様々な動きや情報をコーディネートしていく人材も必要ではないかと思う。
- 公会堂の前庭は、米子の中心市街地の顔。
- 隣接する高島屋やえる・もーる一番街、ひまわり駐車場との連携による、面としての積極的な展開が望まれる。

## 平成29年度下期「米子市公会堂」モニタリング評価表 [平成30年7月]

施設名	米子市公会堂	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市角盤町2丁目61番地
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	
選定方法	公—募・非公募	
施設の設置目的	市政30周年記念事業として昭和33年に建設された米子市公会堂は、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業(優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供) 年間3回程度 参加型事業(多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供) 年間3回程度 教育普及事業(芸術文化に関する普及活動、情報提供) 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認(60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	現地確認 人員配置は計画通りであり、災害マニュアル等を作成している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認 前庭で開催された「山陰いいものマルシェ」では、2万人を超える来場者があるなど、施設の利用促進に努めているため。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか <b>補足資料※1</b>	A	資料確認 昨年を上回る高い水準であったため。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 柱や扉の色塗り、襖の修理等の小規模修繕やクッションガードの取り付け等の作業を職員で行ったため。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書通り事業が実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	現地確認 大ホールだけでなく、前庭、ホワイエ等の活用についても積極的にPRを行い、利用者確保に努めているため。
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	現地確認・資料確認 周辺の歩道を国交省のボランティアロードとして除草作業を行うなど地域の環境美化に努めたため。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・資料確認 利用者に対する対応は適切に行われている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	現地確認・資料確認 ブラックボトムプラスバンドによるアウトリーチを市内小学校で実施したり、「春の文化祭」を初めて開催するなど事業内容が充実していたため。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	現地確認 芸術文化の振興及び市民福祉の充実を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
<b>III サービスの安定性の評価 (15点)</b>			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか <b>補足資料※2</b>	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※3</b>	B	資料確認 妥当である。

3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4	B	資料確認 妥当である
-------------------	---------------------------------	---	---------------

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <p>ブラックボトムプラスバンドによるアウトリーチを市内小学校で実施したり、「春の文化祭」を初めて開催するなど自主事業の内容を工夫し、新たな利用者獲得に努めていることや、「虹のひろば10周年記念コンサート」と同日に前庭で開催された「山陰いいものマルシェ」では、2万人を超える来場者があるなど、前庭・ホワイエの単独利用を含めた施設の利用促進に努め、施設の利用件数及び利用者数が前年を上回る高い水準であったことは評価できる。また、小規模な修繕を職員で迅速に行うなど施設の維持管理も適切に行われている。</p>	<p>合計点 (74) 点 / (100) 点 × 100 = (74)</p> <p>平均点 (3.7) 点</p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

#### 【補足資料】

##### ※1 利用状況

項目	本年度〔平成29年4～3月〕 A	前年度〔平成28年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	359	359	0	100%	
施設利用者数	145,207	128,625	16,582	112.9%	
施設稼働率	100%	100%	0	100%	
事業開催数	20	19	1	105.3%	

##### ※2 事業収支

###### (1) 収入

項目	本年度〔平成29年4～3月〕 A	前年度〔平成28年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	17,939,027	18,753,548	△814,521	95.7%	
指定管理料	60,413,000	61,117,000	△704,000	98.8%	
事業収入	1,266,200	4,046,800	△2,780,600	31.3%	入場料収入の減
補助金及び助成金	526,138	991,000	△464,862	53.1%	県補助金等収入の減
その他	190,464	363,927	△173,463	52.3%	チケット販売手数料の減
合計	80,334,829	85,272,275	△4,937,446	94.2%	

###### (2) 支出

項目	本年度〔平成29年4～3月〕 A	前年度〔平成28年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	21,996,868	23,951,136	△1,954,268	91.8%	
委託料	23,399,847	21,377,904	2,021,943	109.5%	
施設費	18,200,393	16,181,394	2,018,999	112.5%	

事業費	3,630,339	6,351,408	△2,721,069	57.2%	事業開催経費の減
合計	67,227,447	67,861,842	△634,395	99.1%	

### ※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成29年4～3月〕 A	前年度〔平成28年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B		備考
① 事業収支	13,107,382	17,410,433	△4,303,051	75.3%	事業収入等の減
②利用料金比率	22.33%	21.99%	0.34%	101.5%	
③人件費比率	32.72%	35.29%	△2.57%	92.7%	
④外部委託費比率	34.81%	31.50%	3.31%	110.5%	
⑤利用者当たり管理コスト	463	528	△65	87.7%	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	416	475	△59	87.6%	

#### ①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

### ※4 団体等の経営状況

項目	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	備考
①自己資本比率	54.9	44.1	57.7	51.0	55.1	
②流動比率	230.7	182.1	304.5	238.4	281.4	
③固定長期適合率	14.2	15.5	15.3	15.9	15.6	
④総資産経常利益率	-6.4	-1.8	-6.5	7.6	2.3	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

#### ①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

【公益法人会計の場合：正味財産計÷資産計×100】

#### ②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できる

お金)の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

**流動比率 (%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100** 【例】1,100 ÷ 700 × 100 = 157.1%

③ 固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

**固定長期適合率 (%) = 固定資産 ÷ (固定負債 + 自己資本) × 100** 【例】900 ÷ (500 + 800) × 100 = 69.2%

**【公益法人会計の場合：固定資産 ÷ (固定負債 + 正味財産計) × 100】**

④ 総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

**総資本経常利益率 = 経常利益 ÷ 総資産 × 100** 【例】200 ÷ 2,000 × 100 = 10.0%

**【公益法人会計の場合：正味財産増減額 ÷ 総資本 × 100】**

■ 貸借対照表 (例)

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■ 損益計算書 (例)

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

なし

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な回答であった。